１４ひきのねずみの世界

R7．１２．８

おしゃべりが楽しくなっちゃうね

１４ひきのねずみの絵本に触れ、挿絵を見ながら細かい部分にも色々気付き、友だちや保育者と共有して楽しむ姿が見られています。子どもたちともっと１４ひきのねずみの世界を楽しみたいと思い、絵本に登場する物を少し遊びの中にも取り入れてみました。

丸太のイスにはさくらさんが集まってきて、「絵本のはもうちょっと低いね」などと話しながら、お互いの呼び名をねずみのように考えたりして、会話が弾んでいました。他にも「これあさごはんの時座ってたよね」と絵本をめくって確認したり、「このイス座ってあさごはん何食べたい？」という質問に「ステーキ」「私はサンドイッチかな」などと想像を膨らませているお友だちもいましたよ。

なんかすごいよ！はいってみて

ピクニック迷路では中に入ると「なんか森みたい」「草のところに虫もいるよね」とピクニックのお話を思い出しながら、「もっと長かったら楽しいよね」「もっとお花や虫がいたらいいな」という声も出て、「じゃあみんなで作ろうよ」という雰囲気になったようです。

丸太のイスにはテーブルもなくっちゃと早速段ボールを協力して切っていました。その様子はまるで『14ひきのひっこし』で新しい家づくりをするねずみたちのようでしたよ。

ここで朝ごはん食べれるね

これからも『14ひきのねずみ』のお話の世界を楽しみながら、「こんなのあったらいいな」「あれも作ろうよ！」とイメージしたものを形にしたり遊んだりして、表現する楽しさを味わっていきたいと思います。